

本市の財政の現状と課題

資料No.2

● 近年の収支の動向

単位:百万円、%

	H26	H27	H28	H29	H30
実質単年度収支	▲17	567	▲476	▲580	25
経常収支比率	99.1	98.5	101.1	102.5	100.2
調整基金残高 (財政調整、減債)	3,517	3,888	3,105	2,587	2,632

● 本市の財政的課題

実質単年度収支(どのようにお金をやりくりしたか)が赤字基調。

実質単年度収支:単年度収支+財政調整基金積立金+繰上償還金-財政調整基金取崩額。

経常収支比率(財政の硬直化を示す)が100を超えており、財政が硬直化傾向。

要因:扶助費(児童福祉法、老人福祉法、生活保護法等に基づき実施される福祉サービス)、公債費の高止まり

調整基金残高が十分に確保出来ておらず、財政的なゆとりがない。

調整基金:財政調整基金、減債基金のこと。収支調整用、緊急用の基金。